

様式1

「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」報告書

学 校 名 (団体名)	松江市立城北小学校 4年部
連 絡 先	Tel:0852-21-4944 Fax:0852-214980 E-Mail:jouhoku-e@city.matsue.ed.jp
調査参加者	参加者： 第4学年 94名 指導者名： 川本めぐみ 川角昇平 濱田怜香

その他調査したこと、考えたこと、水質を改善するために行ったこと、感想など
(自由に記載ください。紙面が足りない場合は別の紙にまとめて添付してください)

※別紙報告書 参照

みんなで調べる宍道湖流入河川調査 調査結果表

学校 (団体) 名 : 松江市立城北小学校 4 年生

川の名前	北田川
調査地点名	白鹿ホテルの里公園 (松江市法吉町)

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
調査日時	6 / 5	7 / 14	9 / 13	11 / 16
天候 (当日)	晴れ	曇り	晴れ	曇り
天候 (前日)	晴れ	雨	晴れ	曇り
気温 (°C)	22	26	29	19
水温 (°C)	19	20	27	14
COD (mg/l)	5	3.8	7	3
透視度 (cm)	73	43	77	70
その他項目	流れが緩やか。水が冷たい。流れているところは透き通って見えるが、深いところは少し濁って見えた。においは臭くない。	濁っていて、流れが速かった。水深が前より深く、深いところは色が濃かった。	透き通っていて、深いところでも底が見えた。石がつるつるしていた。	少しだけ濁った感じがしたが、透き通っていた。葉が浮いていた。においはしなかった。

「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」報告書

松江市立城北小学校 4 年部

総合「きれいな水を守るために」の学習として、1，2 学期を通して取り組んだ。

【活動の概要】

1 ホタルのふるさと北田川

法吉地区にお住いで、「法吉・白鹿・真山の自然と文化を育む会」の廣江百合子さんを招いて、「ホタルは環境のバロメーター」というテーマでお話を伺った。(5/25)

1 年生の時に川遊びに行った北田川にホタルがいること、そのホタルのえさであるカワニナがいるきれいな川にするための活動について話していただき、この学習のスタートを切った。その後、6月に行われた「ホタルの里公園」でのホタルの観察会に出かけた児童もいる。



2 北田川ってどんな川？

・「ホタルの里公園」を定点として水質調査を行っていくこととした。

(1回目5/29・2回目7/12・3回目9/13・4回目11/16)

・環境政策課の方に水質調査の仕方を教えていただきながら、水質調査を行った。(5/29)



・環境保健公社の方に水生生物による水質調査の方法を教えていただきながら、クラスごとに水質調査を行った。(6/16・19・20)



・実際に北田川に行って分かったことについて個人で新聞にまとめたり、もっと調べたいことについて話し合ったりした。

《下流》



○「他の川も調べたいチーム」(9/25)

堀川に出かけ、「千鳥のお堀を学ぶ会」、「環境保健公社」の方に教えていただきながら水質調査や生き物調査を行った。



○「川をきれいにしたいチーム」(9/25)

堀川に出かけ、「千鳥のお堀を学ぶ会」の方と一緒に生き物調べや水草清掃をしたり、外来生物や昔の堀川の様子について教えていただいたりした。



4 学習発表会で伝えよう

- ・3つのチームそれぞれに、全校のみんなや保護者に伝えたいことを話し合い、プレゼンテーションを作って発表の準備や練習をした。
- ・学習発表会で発表をした。プレゼンに加えて川や地球に関する歌を発表し、きれいな水を守るためには、生き物の力と人間の力のどちらも大切であることを伝えた。(10/26)



5 自分たちにできることを考えよう

ここまでの活動を振り返り、もっと調べたいことやきれいな水を守るために自分たちにできることを話し合っ、締めくくりの活動をした。

○「北田川をもっと調べたいチーム」(11/16)

- ・1年生の時に川遊びをした、第2湊北台団地下の北田川の水質調査をした後、川の周りのゴミ拾いを行った。



- ・上流、第2湊北台団地下、下流のデータをまとめて、他のチームに知らせた。
- ・法吉地区に住む自然観察指導員の廣江百合子さんを招いて、ホテルのすむ川を守るためにどんな活動をしているかを具体的に伺い、自分たちにできることを考えて行動していくことの大切さについて考えた。

調査場所	透視度	CoD	川の様子と結果
上流	32~50 cm	5~8 mg/L	前日に雨が降っていたので少し濁っていた。 キレイな川に住む生き物が多く見つかった! <u>キレイな水</u>
ほたるの里公園	80 cm	7~8 mg/L	川底が見えぬくらいキレイ整備されていて生き物が多く見つかった。 カワナなどのキレイな川に住む生き物が多い。
湊北台の団地近く	80~96 cm	5~8 mg/L	清い。 水は透き通って見えた。 透視度が高い。 <u>ややキレイな水</u>
下流 (ヘルン橋)	70~93 cm	7.8 mg/L	水から「ゆず」のにおいがあった。 透視度は川底が見えぬくらい。 キレイな川に住む生き物が多くておもしろく感じた。 <u>キレイな水</u>

○「他の川も調べたいチーム」

- ・宍道湖と中海の水を採取し、水質調査を行った。調査の結果をまとめて掲示し、他のチームの人にも伝えた。

北田川	におい...しなかった。 どうめいさ...底の石が見えた。 底...石がゴロゴロしていた	
(ほり)川	におい...くさかった。 どうめいさ...底が見えなかった 底...どうと水草があった	
宍道湖	におい...くさかった どうめいさ...少し濁っていた	
中海	におい...くさい どうめいさ...少し濁った	

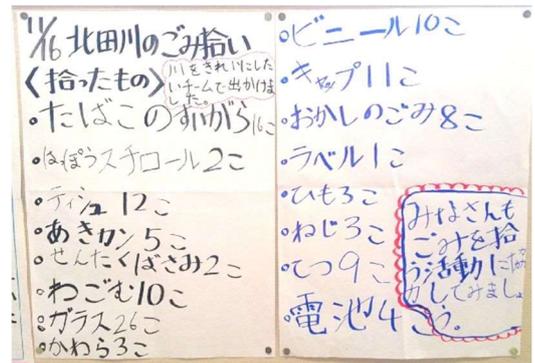
	CoD	透視度
北田川	7 mg	82 cm
(ほり)川	4 mg	23 cm
宍道湖	5 mg	40 cm
中海	5 mg	38 cm

- ・北田川で川遊びをした1年生に、北田川のことを教えてあげたいという願いをもち、ポスターやペープサートなどを作って伝えに行った。



○「川をきれいにしたいチーム」

- ・ほたるの里公園やその上流にかけてのゴミ拾いを行った。どんなごみがあったか書き出し、各学級で報告をした。



- ・自分たちの活動や川をきれいにしてほしいという思いを伝えようと、城北小学校のホームページに呼びかけの動画をのせたり、ポスターを作って校内に貼ったりした



E-mail : jouhoku-e@city.matsue.ed.jp

6 まとめよう

これまでの学習を振り返り、個人で新聞づくりをして掲示した。



7 感想

ホタルが生息する、きれいで豊かな川、北田川。一時期は水も汚くなり、ホタルもあまり見られなくなっていたようだ。護岸や山の管理など、根気強い働きかけや活動により、今ではまたホタルの飛び交う様子が見られるようになってきている。自分たちの身近にある北田川に興味をもち、北田川はどんな川か、北田川がつながる川はどんな川か、きれいな水を守るためにはどうしたらよいか、自分たちにできることはどんなことかなど、常に課題をもって、息の長い学習をしていくことができた。

この活動をするにあたっては、たくさんの方にサポートしていただいた。また、素晴らしい出会いもあった。北田川のいろいろな地点に出かけたり、堀川に入って活動したりできたことは、子ども達にとっても一生の思い出になったことだろう。何より、ふるさとの川を守るために、自ら活動している方と実際に会って話を聞いたり、一緒に活動したりすることで、その存在を身近に感じる事ができた。自分にできることを考える上で、そして子供たちが将来自分で動き出すモデルとして、この出会いはとても貴重なことだったと考える。